

# 令和2年度施政方針（概要）

昨年、「令和」という新たな時代が始まりました。

本市においては、今年度を決して忘れられない、そして、忘れてはならない平成30年7月豪雨災害からの復興元年と捉え、速やかな復旧と創造的復興に向けて、国、県をはじめ関係機関と連携し、全力で取り組んで参りました。市民生活は一応の平安を取り戻しておりますが、発災から1年7ヵ月あまりが経過した現在においても被災の爪あとと深く、仮設住宅等で避難生活を余儀なくされている多くの方々がいらつしやるほか、将来に不安を抱えながらも地道な努力を重ねる農家の方々など生活再建に向けて懸命に取り組まれています。

また、急傾斜地などが多く、現場条件の厳しい公共インフラや柑橘園地の復旧はまだこれからであり、今後も国、県等とも連携しながら最優先で取り組んで参りたいと考えております。

さて、我が国の景気は雇用・所

得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調との分析がなされておりますが、グローバル経済と言われる今日、米中貿易摩擦、中東情勢の緊張などに加え、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大、消費税率引上げ後の消費動向など景気の減速や先行きに対する不透明感も高まっております。特に私たちが住む地方においては、少子高齢化の進行もあいまって人手不足も深刻となっており、実感なき景気回復といえるのではないかと感じております。

このような中、本市の財政状況は地方交付税をはじめ、国や県などからの財源に大きく依存する状況に変わりはないものの、合併以降さまざまな行財政改革に取り組んできた結果、各種財政指標は大幅に改善が図られて参りました。

しかし、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興は未だ道半ばであり、今後も長い時間と莫大な費用が必要となることも予想されております。加えて南海トラフ巨大

地震のほか、予期せぬ自然災害に備えた防災・減災対策の強化を始め、老朽化したインフラの維持・整備など喫緊に取り組むべき課題も山積しており、現在策定中の長期財政計画では、国、県からの支援を考慮してもなお大きな財政負担が見込まれております。

このような中、令和2年度当初予算編成においてはこれまでの堅実な財政運営の方針は堅持しつつ、豪雨災害からの復旧・復興の歩みを更に加速させるほか、「うわじまブランド魅力化計画」に基づき戦略的なシテイセールスの展開をはじめ、宇和島市の「未来」につながる施策や先送りによることのできない課題に積極的に取り組むことといたしました。

## 令和2年度 施政方針(抜粋)

令和2年3月「第72回宇和島市議会定例会本会議」において市長が表明した施政方針から、おもな項目を抜粋してお知らせします。なお、施政方針全文については、市ホームページをご覧ください。



### 復旧に向けた施策

- 被災者支援
  - ▶地域支え合いセンターやNPO、ボランティアなどとの連携・調整を行う中間支援組織「宇和島NPOセンター」と連携し、個別訪問や相談などを通じたきめ細やかな支援の継続
- 公共土木施設復旧
  - ▶被災した市道、河川、橋りょうなどの公共土木施設復旧工事の計画的な発注
- かんきつ産業の復旧
  - ▶県やJAなどと連携した代替園地のあっせんなど収入確保対策、農地農業用施設の復旧
  - ▶災害に強く、生産性、作業性にも優れた再編復旧や改良復旧に着手
  - ▶未収益期間の短縮につなげるため、大苗育苗や根域制限栽培などのソフト対策
  - ▶吉田生まれのオリジナル品種「紅プリンセス」の産地化

### 復興に向けた施策

- ▶被災状況と復旧・復興への歩みを後世につなげる災害記録誌の作成着手
- ▶地域外の企業、団体との関係強化
- ▶令和3年度開催予定の「いやしの南予・復興イベント」(仮称)での、全国からいただいた支援に対する感謝や復興の歩みを伝えるための準備







## 防災・減災対策

- ▶ 国土強靱化地域計画の策定
- ▶ 被災経験を踏まえた各種対応マニュアルの更新・作成
- ▶ 備蓄物資の管理供給システムの導入
- ▶ 一般避難所の環境改善や福祉避難所の整備
- ▶ 市民が主体的に行動できる防災体制の構築
- ▶ 地区防災計画や避難所運営マニュアルの策定支援
- ▶ 本庁舎の耐震化工事の令和4年度中の完成、新築する津島支所は、令和2年度中の完成
- ▶ 消防団へのトランシーバー配備
- ▶ 災害時やイベントでのトイレ確保や被災地への派遣支援に活用する移動可能なトイレカー配備
- ▶ 新たに水位周知河川として指定予定の立間川、岩松川、三間川のハザードマップの作成
- ▶ 洪水被害対策のため、ポンプ場に発電機を常時配備



## 戦略的なシティセールスの展開

▶「うわじまブランド魅力化計画」に基づき、本市の魅力や強みを改めて認識し、国内外に継続的に発信し、強く印象づけることでシビックプライドの向上や関係人口の増加、魅力の維持や新しい価値を創出

### ■本市のイメージの明確化

▶ロゴマーク、キャッチコピー、宇和島の魅力資源を集めた写真データベース「宇和島百景」の積極的な活用

### ■戦略的な情報発信

▶シティプロモーション動画を制作・発信し、デジタルマーケティングの手法による本市の認知度向上

▶市ホームページをリニューアルし、観光、移住、イベントなど市外向けのシティプロモーションサイトを構築。AIチャットボットを活用した検索システムなどを導入

### ■関係人口の創出

▶本市出身者やゆかりのある著名な文化人、経済人などを「うわじまアンバサダー」として委嘱

### ■シビックプライドの向上

▶子どもたちの郷土愛醸成に関する事業の実施  
▶中央公民館を活用した「青少年市民協働センター（通称：ホリバタ）」事業を通じた人材育成  
▶「おかえりプロジェクト」の推進

### 【宇和島百景 優秀10作品】



【台風が去ったあと】  
▶ furan0203 さん



【漁村の朝】  
▶ \_kousei0118\_ さん



【夕焼けと真珠いかだ】  
▶ tokinanami さん



【春の宇和島城】  
▶ kosuke\_77\_ さん



【うわじま牛鬼まつり】  
▶ supermeinc さん



【太陽の実】  
▶ yoshihito\_sasaki さん



【頭垂れ、実りの季節】  
▶ tosh\_photograph さん



【朝霧に浮かぶ宇和島城】  
▶ 河野 哲夫 さん



【巡りあいたかった本場のじゃこてん】  
▶ tkm.miyw さん



【宇和島男子にキュンするところ】  
▶ utau\_\_tabigram さん







## 経済活性・雇用の未来につながる施策

- ▶ 農林水産業の担い手確保を図るため、市内に移住して就業する場合の支援の継続および充実

### ■ 農業分野

- ▶ J A や関係団体と連携しながら新規就農者の経営安定、高品質生産やコスト削減、産地競争力などに必要な施設整備に助成
- ▶ 「宇和島みかんブランド」の広報やみかん収穫アルバイトの確保などに対する支援
- ▶ 「南予森林管理推進センター」を中心に、森林所有者への意向調査、新たな森林施業者の発掘・育成

### ■ 水産業

- ▶ 漁協や愛媛大学と連携して優良アコヤガイを作出
- ▶ へい死などにも対応できる養殖共催への加入促進
- ▶ 大浦埋立地に荷さばき施設を開設(5月予定)

### ■ 観光振興

- ▶ 城山下観光拠点施設の整備着手
- ▶ 観光コンテンツの集積や情報発信の強化

### ■ 販路開拓

- ▶ 宇和島市販商品データベースの充実、商談会出展機会の提供

### ■ うわじま牛鬼まつり

- ▶ 7月24日(金)が東京オリンピック開会式当日であり、祭りの運営にかかる担い手不足や観覧者の減少に対応するため7月18日(土)・19日(日)に開催。走り込みは7月24日(金)に開催。

### ■ そのほか

- ▶ 鳥獣害対策として捕獲者の負担軽減や効率化を目指し、情報通信技術を活用した捕獲機材の導入
- ▶ 商工業者の人手不足対策としてRPA(ロボットによる業務自動化)導入に対する助成メニューを追加

## 子どもたちの未来につながる

### 子育て環境の充実

- ▶ 中学生までの医療費無料化(令和3年度～)に向けたシステム改修
- ▶ 子育て応援給付金と乳幼児養育手当を一本化し、対象を2歳児までに拡充
- ▶ 旧清満幼稚園を活用した児童館の整備や公園遊具の改修・整備
- ▶ 公立保育園などへの防犯カメラの設置



### 学校教育現場

- ▶ 新学習指導要領のプログラミング教育への対応
- ▶ デジタル教科書の拡充
- ▶ 英語力向上のため英語指導助手(ALT)の配置拡大
- ▶ 小・中学校へのスクールサポートスタッフを派遣するとともに教育支援員や部活動指導員を増員して教職員の働き方を改革
- ▶ 学校運営協議会制度をすべての小・中学校に拡充し、「地域とともにある学校づくり」を目指す
- ▶ プールをはじめとした老朽化施設や避難所となる小学校のトイレ改修などを推進
- ▶ 防犯カメラや非常通報装置の設置、危険支障木の伐採など学校の安全・安心な環境整備
- ▶ 経年劣化した中学校の楽器の更新
- ▶ 吉田地区の5つの小学校について統合準備協議会を設置し、地域との協議を継続しながら統合小学校校舎などの設計に着手

## 健康づくり・生きがいつくりの未来

- ▶ 支援情報を共有し効率的な支援につなげる「みさいやネット」参加事業所の拡大
- ▶ 救急搬送などや災害発生時に患者の既往歴や処方、ケアに関する情報などを参照できる機能を拡充
- ▶ 市立宇和島病院や京都大学などと連携し、本市の健康データの特性を分析し、新たな介護予防策を検討
- ▶ 40歳以上の骨粗しょう症検診を助成対象に追加
- ▶ 歯周疾患検診をすべての人が無料で受診できる機会を提供
- ▶ スマートフォンなどで特定検診やがん検診などの予約ができる健診予約システムの導入

### 病院事業

- ▶ 市立宇和島病院は、4月から「地域医療支援病院」として地域に身近なかかりつけ医との機能分化、高度医療や専門外来、救急医療体制の充実を図る

- ▶ 慢性的な医師不足について、県と愛媛大学医学部への働きかけを継続・強化
- ▶ 労働時間短縮など医師の働き方を改革
- ▶ 緊急性のない軽症患者のコンビニ受診抑制のため時間外特別料金を新設
- ▶ 午後のウォークイン外来の受け入れを取りやめ、専門医療の安定的供給と医師確保につなげる



## そのほか重点施策

### ■スポーツに対する機運の高まり

- ▶東京2020オリンピック・パラリンピック 聖火リレー（4月23日(木)）において、復旧・復興に向けた未来へつなぐ希望の火となるよう準備
- ▶「日本スポーツマスターズ2020愛媛大会(男子サッカー、男子バスケットボール)」(9月19日(土))でのおもてなしを通じた積極的PR
- ▶宇和島から世界へ飛ばたくトップアスリートを育成
- ▶丸山公園体育関係施設などの計画的改修に着手

### ■地域の歴史や伝統を次世代につなぐ

- ▶市民の憩いの場となる伊達博物館の建設に向けて着実に取り組む

### ■生活環境の充実

- ▶単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促進する宅内配管工事費の助成
- ▶市民生活に危険を及ぼすスズメバチなどの駆除費に対する補助
- ▶高齢者などのゴミ出し困難者を対象とした戸別収集制度の検討

### ■デジタルシフト

- ▶AIを活用した認定こども園や保育所の入所選考
- ▶ふるさと納税や予防接種などの業務における定型作業の自動化に向けた検証

## 「東京2020オリンピック」聖火リレー

【と き】 4月23日(木)

【コース】 伊達博物館前～きさいや広場前

【区 間】 11区間

※本市が選考した3人のほか、スポンサーなどが選考した聖火ランナーを含め11組のランナーが聖火をつなぎます。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

【問合先】 文化・スポーツ課 ☎49-7033



当日の走行ルートや交通規制などについては、広報4月号折り込みをご覧ください。



【宇和島市 聖火ランナー】